

## 宝林宝樹

(58)



今、お寺の境内に白やピンクの蓮の花が咲いています。四月の桜の花が咲いている頃に蓮の植変えをして色々と手入れをしてようやく美しい花を咲かせてくれています。

蓮の花は仏教では『妙法蓮華經』と蓮の名前のついたお経があったり、仏さまが立っておられる台座を蓮台と呼んでいます。『阿弥陀經』には「青色青光 黄色黄光 赤色赤光 白色白光」と、色とりどりの蓮が輝いている様子が表現されています。蓮の花は仏教とは切り離せないものになっっているようです。

私たち一人ひとり顔も性格も違っていますが、違う色に染まることなく自分は自分として自立していくことが大切であるとの教えに自分自身を振り返ってみると、いつも周りと比較して自分の方が上だ下だと考えています。そのような自分勝手な考え方の自分に気づきを与えくださったっているのが阿弥陀さまではないかと思えます。そこにはおかげさまと感謝の気持ちがおこってくるのではないのでしょうか。四月に重労働で植え変えをした甲斐がありました。

## 宝林宝樹

(58)



今、お寺の境内に白やピンクの蓮の花が咲いています。四月の桜の花が咲いている頃に蓮の植変えをして色々と手入れをしてようやく美しい花を咲かせてくれています。

蓮の花は仏教では『妙法蓮華經』と蓮の名前のついたお経があったり、仏さまが立っておられる台座を蓮台と呼んでいます。『阿弥陀經』には「青色青光 黄色黄光 赤色赤光 白色白光」と、色とりどりの蓮が輝いている様子が表現されています。蓮の花は仏教とは切り離せないものになっっているようです。

私たち一人ひとり顔も性格も違っていますが、違う色に染まることなく自分は自分として自立していくことが大切であるとの教えに自分自身を振り返ってみると、いつも周りと比較して自分の方が上だ下だと考えています。そのような自分勝手な考え方の自分に気づきを与えくださったっているのが阿弥陀さまではないかと思えます。そこにはおかげさまと感謝の気持ちがおこってくるのではないのでしょうか。四月に重労働で植え変えをした甲斐がありました。